



NPO法人

くまもと未来ネット通信

Kumamoto Mirai Net Tsu-shin

vol.3

## TOPICS

- 活動4つの柱をたてました
- 再エネから始まる地域創造
- 熊本県内でアライグマの被害が拡大中
- フェアトレードのポロシャツ作成中です
- 地域の担い手育事業スタートしました
- 「企業のエシカル通信簿」をつくりたい



### ◀ SDGs学習会

「住み続けられるまちづくり」をテーマに柴田祐さま(熊本県立大学教授)にお話しいただきました。

## 4つの活動の柱を立てました

当団体は2017年4月の臨時総会にて名称変更し、改めて持続可能な熊本づくりに邁進していくことを誓いました。それから1年、じっくりと地域課題を見つめ、その解決に取り組む県内外の様々なサードセクターの方々と向き合う中で、少しずつではありますが当団体の役割と注力すべき事業(4つの柱)が明確化してきました。

地域づくり活動の核となれるよう、腰をすえて、4つの柱(プロジェクト)の推進に取り組んでまいります。

### グローバルなフェアトレードを日常に落とし込む「フェアトレードプロジェクト」

- ・フェアトレード普及・啓発
- ・フェアトレード商品の開発
- ・フェアトレードタウン事務局

### 持続可能な地域づくりの担い手を支援する「中間支援プロジェクト」

- ・情報共有・ネットワーク構築
- ・コンサルティング
- ・事務局支援、ファンドレイジング(資金調達)

### 再生可能エネルギーの創出と利活用を繋ぐ「エネルギープロジェクト」

- ・再生可能エネルギー普及・啓発活動
- ・電力小売事業「ひご未来エネルギー」
- ・市民共同発電所運営

### 中山間地の暮らしを守り、水資源を育む「生物多様性プロジェクト」

- ・地下水涵養に関する各種事業
- ・鳥獣害対策実行支援(主にアライグマ)
- ・江津湖等における環境学習事業

## 再エネから始まる地域創造!

2018年9月1日から  
電力小売事業に参入しました。



くまもと未来ネットは、9月1日から、県内のNPOとして初めて電力小売事業に参入することになりました。社名は「ひご未来エネルギー」。エネルギーで持続可能な地域づくりに貢献しますという決意をこめました。

何故、NPOが電力の小売事業を始めるのでしょうか？人と自然・人と人が共生し、公正と公平、そして安心と安全が担保された持続可能な地域社会の実現を私たちは環境ネットワークくまもと時代からめざしてきました。

SDGsが17の目標を掲げるように、持続可能な開発の達成には多様な要素が含まれていますが、安心して安全な食料とエネルギーの自給率向上は重要な要素だと思います。

「ひご未来エネルギー」は、地域資源を活かした再生可

他の新電力会社と「ひごエネ」はどこが違うの……？  
2016年4月より家庭向けなどを含めた電力の小売全面自由化がスタートし、大小様々な企業が本事業に参入しました。しかし、そのほとんどの事業者が、既存電力取引市場等から安く電力を仕入れて、大手電力会社の販売値より安い金額に収まる程度に利益を乗せて販売するといったものです。

能エネルギーを普及させ、さらに、事業で得た収益を地域課題解決のための資金として地域課題解決に取り組む活動を支援し地域を元気にしていきます。エネルギーと持続的な社会づくり活動の循環を実現させるために『6つの約束』を掲げました。再エネから始まる地域創造です。

1年目は、地域電力会社の先駆者でありパートナーとしてサポートしていただく「みやまスマート・エネルギー株式会社」(福岡県みやま市)の代理店としてスタートし、事業のノウハウを学び、1年後には会社を設立し独立する計画です。スタート時に取り扱うのは再生可能エネルギー比率25%(RE25)の電力で、2019年にはRE100の供給体制を整えていきます。

「ひご未来エネルギー」は地域の皆様とともに再生可能エネルギー100%の熊本を目指します。9月より、皆さまの職場やご家庭の電力の切り替え申し込みを受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。ご支援をよろしくお願いいたします。

6つの約束、事業概要、電力切替の手順などは同封の提案書をお読みください。

副代表理事/原 育美

## 熊本県内でもアライグマ被害が急拡大中!



可愛らしい見た目とは裏腹に凶暴な性格を持つアライグマ。今、このアライグマによる被害が全国的に急拡大しています(年間被害額4億円超!)。そしていよいよその生息域が熊本にまで広がっています。歌岡理事による独自生息調査の結果、南関町や宇城市など、県内12市町村にてその生息を確認。

特定外来種であるアライグマは農作物の食害から、家畜やペットを襲って食べる等、里山の生態系や生活に壊滅的ダメージを与えます。また、健康被害も深刻で、アライグマの持つアライグマ回虫という寄生虫の卵が何らかの形で人間の体内に入った場合、卵が孵化して寄生虫が中枢神経へと迷走し、重い精神系の障害を患い、場合によっては死に至ります。

イノシシやシカなどと比較してジビエなどでの活用が難しいアライグマは、いかにその生息数が拡大する前に手を

打つかによって将来的なその被害額、そして、対策コストが大きく変わります。

未来ネットでも歌岡理事を中心に「生物多様性プロジェクトチーム」を形成し、その生息拡大を食い止めるため、地域住民を巻き込んだ自立型アライグマ対策体制の構築を進めていきます。

また、この取り組みへの協力者(仲間)も求めています!ぜひ一緒に取り組みましょう!



▲アライグマの特徴(熊本県HPより)

代表理事 兼 事務局長/ 林信吾

## フェアトレードのオリジナル ポロシャツを作っています！

熊本市はアジア初、世界で1000番目のフェアトレードタウン認定都市であり、「フェアトレード」という言葉の認知度は他の地域と比較し圧倒的に高いものになっています。しかし、フェアトレードという言葉を知っているというだけではフェアトレードは推進されません。

そこで、未来ネットでは、「グローバルなフェアトレードを日常に」を合言葉に、よりフェアトレードを身近に感じられるような商品開発を進めていくことにしました。そして、その第一弾として今取り組んでいるのが、セネガル産フェアトレードコットンを用いたオリジナルポロシャツ企画です。

製造は荒尾市に本社のある第一紡績株式会社様。第一紡績様は2013年に特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパンを通し、国際フェアトレードラベル機構(FLO)の定める基準により、フェアトレード認証製品の製造組織として登録されている日本でも先駆的且つ珍しいアパレル企業です。

世界のいくつかのコットン生産地では既に、フェアトレード認証を取得しています。

しかし、その認証を受けた「少し高い」コットンを仕入れる事業者はまだ多くなく、現地では大量に売れ残っているとのこと。そして、生産者たちは売れ残るよりは売り切りたいがために、フェアトレード認証を受けていることを伏せて安価で販売しているのです。

生産者の自立を支援し、そして、環境面でも負荷の少ないフェアトレード素材が実際に利用されるようになれば、生産者たちはせっかく手に入れた自立できるはずの生産体制(認証)を放棄し、以前通りの生産体制に戻らなければなりません。

今こそ、「知っている」から、「使っている」へ。まずはフェアトレードポロシャツをユニホームとして、日常着として、様々なシチュエーションでご活用ください。

代表理事 兼 事務局長/ 林信吾



## 地域の担い手育成事業 いよいよスタート！

今年度で4年目を迎える「地域の担い手育成事業(熊本県委託事業)」今年度も、非営利向けの「経営組織力強化セミナー」を開催し、個別コンサルティングを3団体に実施する予定です！これまで様々な団体のコンサルティングを行い、熊本にもいつでも相談できるコンサルタントの重要性を感じ、新たに「非営利向けのコンサルタント養成」もおこなうこととなりました。

講師は、藤岡喜美子さん(一般社団法人日本サードセクター経営者協会)です。

毎年満足度が非常に高いこの事業。

昨年度個別コンサルティングを受けられた方の感想をご覧ください。



事務局/藤本紀子

### 昨年度個別コンサルティング受講団体の声

どのような事業を行ったら活動の幅や受ける支援の幅が広がっていくのか、手詰まり感がありました。

この研修を受けることで、私たちのミッションや目指すビジョンを、目線を上げて考え直すきっかけになりました。法人設立当初の思いをあらためて思い起こしたり、新たに入った理事とも共有でき、実現したい社会の姿がイメージできました。

NPOの事務局という立場になって1年が経ち、事務局だからこそ見える視点や組織の運営について考える貴重な機会を得ることが出来ました。

事業の経営に悩んでいた時に藤岡先生の強化セミナーを知り、参加しました。アドバイスを受けながらロジックモデルシートを書き込んでいくうちに経営の方法の基礎を具体的に教えていただき、学ぶことができました。

ビジョンと事業が明確になり、ホームページ・チラシ・助成金資料の作成がスムーズになりました。

日々夢を語り合っていましたが、コンサルトを受け、夢が現実になりそうです。ロジックモデルを作成していくことで、頭の中にあったビジョン、長期目標、中期目標、短期目標が整理され、何をいつ、どうすればいいのか明確になりました。

環境・人権・動物・平和…「企業のエシカル通信簿」をつくりたい!!  
クラウドファンディングに挑戦します。ご支援をお願いいたします。



「買い物は投票!」を合言葉に全国各地から39団体が結集し、エシカルな社会を実現するためのネットワークを作りました。それが「消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク(SSRC)」です。未来ネットもそのメンバーとして活動しています。地球環境、人権、動物の福祉などに配慮して作られた「エシカル商品」を選んで買うという「エシカル消費」は、海外では日常的になりつつありますが、日本では情報も少なく、まだまだ、難しいと思われるのではないのでしょうか。

そこで私たちは、それらの課題に真摯に取り組んでいる企業を選ぶため「企業のエシカル通信簿」をつくりました。買い物だけでなく、就職、投資にも役立つツールです。2016年度、17年度に5業種計22社を7つの分野で調査・分析し、企業、メディア、NGO/NPO、行政機関等からもポジティブな評価を頂きました。世間の期待も高まっています。

今年度は家電と外食産業を調査する予定ですが、残念ながら調査費用や発表会の会場費、運営費が足りず、このクラウドファンディングに挑戦することになりました。クラウドファンディングというのは、インターネットを通じて、人々に資金提供を呼びかけるものです。

3年目の今年は、この調査プロジェクトを軌道に乗せていく大切な年でもあります。どうか皆さんでこの「企業のエシカル通信簿」を応援し、育てていただけないでしょうか? この支援は、11月12日(月)までの期間内に目標金額185万円に到達しないと1円も受け取れない、All or nothing 形式です。ぜひ、ご支援をお願いします。また、お知り合い、ご友人に転送・シェアしていただければ幸いです。



エシカルで持続可能な社会をつくりたい!と願う私たちの活動を、ぜひ応援してください! よろしくをお願いいたします。



ご支援・ご協力ありがとうございます

(2018. 6~9)

【賛助会員】(個人) 長峰秀幸

【維持会員】宇野昭彦、永谷誠一、原育美、井上智、宮瀬美津子、九州太陽電池株式会社

※敬称は略させていただきます。

寄付・会費等のお支払は以下口座へよろしくお願い致します。

肥後銀行	味噌天神支店	普通預金	1495574	NPO法人くまもと未来ネット
九州労働金庫	熊本支店	普通預金	2702440	NPO法人くまもと未来ネット

【発行】



NPO法人  
くまもと未来ネット  
Kumamoto Mirai Net

〒862-0973 熊本市中央区大江本町6-24

TEL/FAX:096-362-3776 E-mail:home@kumamoto-mirai.com

☆最新情報はFacebookをご覧ください

<https://www.facebook.com/kankuma1994/>